

学 生 各 位

学 長

百日咳及び麻疹（はしか）の発生に伴う サークル活動等の禁止措置の解除について（お知らせ）

百日咳及び麻疹（はしか）の発生に伴う当面の措置として、正課（授業）を除き、学内外のサークル活動等の集団活動を、6月30日（土）まで禁止していたところですが、現時点において、百日咳は終息に向かっていると判断されること、また、麻疹（はしか）と診断された者が新たに発生していないことから、学内外のサークル活動等の集団活動を、明日、6月26日（火）から解除することとします。

なお、四国地区大学総合体育大会（インカレ）への参加については、先日、通知のとおり、取り止めますので、了解願います。

学生諸君には、このたびの百日咳の集団発生等に伴って、多くの負担や心配等を掛けましたが、他大学や地域等への感染拡大を防止するという大学の措置に協力いただき、ありがとうございました。

なお、引き続き、以下の事項に留意するとともに、課外活動団体の学内外での活動に当たっては、顧問教員と相談するなどして、健康管理には十分注意してください。

○百日咳を疑わせる症状と対処方法

- (1) 大人の百日咳は、最初、「咳」が出るだけで、風邪となかなか見分けが付きません。少しでも「咳」が出る人は、大学に登校せず自宅待機とし、アルバイト、映画館、繁華街などの人の集まる場所等に、むやみに出歩かないようにしてください。
- (2) 「咳」が出る人は、電話で保健管理センターに連絡し、指示された医療機関を受診してください。
- (3) 百日咳の疑いありとされた人は、今回、医療機関で処方された抗生物質を5日間服用して自宅待機し、外出を控えてください。やむを得ず、外出するときは、必ずマスクを着用してください。
- (4) 5日間以上、抗生物質を服用した人は、保健管理センターに電話連絡をし、指示を受けるとともに、所属学部の学務担当係に、その旨伝えてください。

○麻疹（はしか）を疑わせる症状と対処方法

- (1) 「麻疹」の発疹出現前の初期症状は、風邪症状（発熱、咳、鼻汁、目やに）です。発熱時、特に **37.5℃** 以上の場合には登校せずに自宅待機とし、アルバイト、映画館、繁華街などの人の集まる場所等に、むやみに出歩かないようにしてください。
- (2) **37.5℃** 以上の熱がある人は、電話で保健管理センターに連絡し、指示を受けてください。
- (3) 発熱後4～5日で発疹の出現など「麻疹」の可能性の強い場合は、医療機関に必ず電話連絡の上、受診してください。また、「麻疹」と診断されたときは、保健管理センターに必ず電話連絡をするとともに、所属学部の学務担当係に、その旨伝えてください。